新たな「北陸圏広域地方計画（案）」中間整理（構成）

資料－２

はじめに

はじめに

1　計画の策定に当たって　　2　計画期間　　3　計画区域と隣接圏・府県との関係

現状と課題

北陸圏の現状

○高い地域コミュニティや経済的ゆとりで子育てしやすく女性の社会参加がしやすい優れた生活環境
○多様で個性ある都市の利便性と農山漁村のゆとりを身近に享受できる優れた居住環境
○3,000m級の山岳から日本海までに至る地形変化のなか、風水害や土砂災害、豪雪等の厳しさを有する反面、多様な生態系と健全な水循環系を育む豊かな自然環境
○伝統産業から先端産業まで日本海側有数の特徴ある世界レベルの工業集積等、多様な産業の集積
○三大都市圏や環日本海諸国を始めとするユーラシアに対するアクセス性の向上
○自然、歴史、農林水産業、食文化、ものづくり等豊富な資源を活かした雪国ならではの生活の知恵が複合した独自で多様性のある文化

北陸圏の課題

(1) 子育てしながら共働きできるライフスタイルの維持・向上
(2) 少子化の進展及び若い世代の人口流出に歯止めをかける、雇用環境の充実
(3) 厳しい自然環境の中でも安全・安心で快適な生活レベルの維持・向上
(4) 連接する都市群と半島や中山間地の共生
(5) 地理的優位性と北陸ブランド力を活かした産業・営農の強化
(6) 太平洋側の災害リスクの高まりに伴う本社機能移転などへの積極的な対応
(7) 優れた観光資源を活かした国内外誘致のための取組

将来像

将来像 1
暮らしやすさに磨きをかけ更に輝く　新・北陸

【北陸圏の位置付け】
厳しくも豊かで多様な自然、魅力ある都市と農山漁村及び活力ある産業が共生した、圏域内の連携と国内外との対流・交流により我が国の持続的な発展を先導する、日本海国土軸の中枢圏域

将来像 2
三大都市圏に近接する特性を活かし、日本海・太平洋２面活用型国土形成を牽引する　新・北陸

新しい将来像実現に向けた目標・戦略

1　個性ある北陸圏の創生
～更なる安全安心、環境豊かな暮らしの充実、コンパクト+ネットワーク～

(1) 親との近居や地域コミュニティを維持するとともに、子育て支援や女性就業、生活サービス支援等だれもが暮らしやすい生活環境の充実
(2) 本社・研究機能等も含めた働きやすく魅力ある雇用環境や高等教育環境の充実
(3) 多様性と集約性のある都市サービス拠点のコンパクト化と交通ネットワーク充実による持続可能で多様な居住選択機会の提供及び人口誘致
(4) 風水害・土砂災害等のほか、地震・津波も含めた更なる災害リスク低減に向けたソフト・ハード一体の防災・減災対策の強化や居住環境の充実
(5) 豊かな自然環境の保全と地球環境問題への対応

2　競争力のある産業の育成
～北陸のものづくり産業や農林水産業の一層の活性化～

(1) 集積する同業種・異業種や高等教育機関の連接都市間での対流と交通・ＩＣＴネットワーク環境の充実
(2) 太平洋側及び海外企業等の製造拠点・本社・研究開発・研修機能の誘致推進に向けた支援施策や環日本海諸国等海外や国内他地域との経済連携・立地ニーズに応えるＰＲ強化
(3) 圏域の食料供給力と地域ブランド力の更なる強化

3　日本海側の中枢圏域の形成
～日本海沿岸地域との連携強化と太平洋側との連携強化～

(1) 市場となる大都市圏との取引や物流等を支える、更なる時間距離の短縮や生産拠点等誘致に向けた信頼性の高い国際物流・旅客機能の強化
(2) 太平洋側の防災面に加え産業等機能においても代替性を発揮する防災・産業拠点及びネットワークの強化

4　対流・交流人口の創出
～北陸の魅力を活かした国内外との対流・交流の創出～

(1) 多様な産業、歴史・景観・食文化等に彩られた地域資源の磨き上げと北陸圏内観光周遊ルートの充実
(2) 北陸新幹線の開業、2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とし、さらにはリニア中央新幹線の開業を見据えた首都圏や欧米、アジアの新興国等国内外観光客誘致強化と魅力の発信

広域連携プロジェクト

広域連携プロジェクト

1　豊かな暮らしを育む連接型都市圏形成
2　いきいきふるさと・農山漁村活性化
3　防災技術・地域コミュニティを活かした北陸防災力強化
4　北陸の多彩な環境保全
5　北陸発エネルギー技術、環境技術拠点形成
6　東アジアに展開する日本海中枢圏域形成
7　食料供給力増強・食の北陸ブランド展開
8　強靭な国土づくりに貢献する広域的な防災体制の構築
9　高速交通基盤を活かした北陸観光交流圏

隣接圏域との交流・連携

1　北陸圏・中部圏連携プロジェクト
2　日本海沿岸地域の連携推進プロジェクト
3　広域防災・観光に向けた隣接県との連携プロジェクト

計画の実現

計画の実現に向けて

1　多様な主体の参加と協働
2　持続可能な圏域形成に向けた人材育成
3　広域的な発想の下での地域連携の促進
4　投資の重点化・効率化
5　他の計画・施策との連携
6　計画のモニタリング等